「読んで、語り合って、いっしょに解決！」樹形図（じゅけいず）のかき方、使い方カード

・樹形図（じゅけいず）をかきながら作品に対する思いや考えを広げたり、つなげたりして「問い」の解決に役立てましょう。

①，②
自分（たち）が立てた
「問い」
（ふしぎに思ったこと）
・どうして、「女の子」は、急にすがたを消してしまったのかな。…例
ピンク色の付せん

③
「問い」に対する
「答え」
（自分の考え）
・「女の子」がすがたを消したのは、ズバリ、…だからです。…例
水色の付せん

④
自分の考え（「答え」）の根きょとなる
「じょ述」(1)
（「しょうこ」として注目した言葉や文）
・女の子は、…。　（p○○、○行目）
緑色の付せん

⑤
根きょとなる「じょ述」について
「自分が考えたこと」(1)
・女の子が、…したのは、とても～な気持ちだったからだと思う。
黄色の付せん

⑥
⑧
自分の考え（「答え」）の根きょとなる
「じょ述」(2)
（「しょうこ」として注目した言葉や文）
・「…。」　（p○○、○行目）
緑色の付せん

⑦
根きょとなる「じょ述」について
「友達が考えたこと」(1)
・女の子は、…の時、—と考えたのではないかな。
黄色の付せん（赤鉛筆（あかえんぴつ）で記入）

自分の考え（「答え」）の根きょとなる
「じょ述」(3)
（「しょうこ」として注目した言葉や文）
・～すると、女の子は…。（p○○、○行目）
緑色の付せん

根きょとなる「じょ述」について
「自分が考えたこと」(2)
・ふつう、私（達）だったら、・・すると思う。
黄色の付せん

⑦
友達が発見した根きょとなる
「じょ述」
（「しょうこ」として注目した言葉や文）
・「…。」　（p○○、○行目）
緑色の付せん（赤鉛筆（あかえんぴつ）で記入）

「関係付ける」ことが大切！
・「考え」と「じょ述（根きょ）」は、合っているかな？
・「じょ述」と「じょ述」（場面と場面）…「場面はちがうけれど、同じだな（にているな）。」というところはないかな？

まずは、自分一人で

①自分が作品を読んでふしぎに思ったこと、友達と語り合って考えを深めたいことについて、**「問い」**の形にする。
②**「問い」**をピンク色の付せんに書いて左はじにはる。
③「問い」に対する**「答え」**（自分の考え）を水色の付せんに書いて「問い」の下のいちにはる。
④自分の考えの根きょとなる**「じょ述」**を物語からぬき出して緑色の付せんに書く。
＊この時、何ページの何行目かも書きましょう。
＊根きょとなる**「じょ述」**は、なるべくたくさん見つけましょう。
⑤根きょとなるじょ述について**「考えたこと」**（「じょ述」などから想像したこと）を、黄色の付せんに書いてはる。
※⑤の**「考えたこと」**が先に思いうかび、④の根きょとなる**「じょ述」**を、後でさがすこともありますね。
⑥「答え」「じょ述」「考えたこと」で、それぞれ関係のありそうな付せんどうしを線でつなぐ。

次に、友達と

⑦それぞれの樹形図を見合って、語り合い、さらに付せんをふやしたり、付せんどうしを線でつないだりする。
・他にも根きょとなる「じょ述」はないかな？
・「じょ述」は、「答え」の根きょとしてなっとくできる？
＊付せんの場所をかえたり、新しく発見した「つながり」を矢印で記せるといいですね。
⑧友達との語り合いを通して、自分の「読み（考えや感想）」が変わるきっかけとなった付せん（「じょ述」・「考えたこと」や、矢印にシールをはる。

（「ふりかえり」では、）

⑨はったシールをもとに、どのような言葉や文に着目して読むと「ファンタジー作品を１００倍楽しめる」か考えよう。